仙台市太白山自然観察の森情報誌　2018 年　１月号　No.316

森のおくりもの 1月

ホウオウゴケ（ ホウオウゴケ科 ）

太白山麓の生き物たちは新年を迎えましたが、日常を生きております。森から太平洋を眺めて、太陽がまた昇ってきたことに感謝しつつ、海の向こうはアメリカか…、などと考えながら足元の自然を見つめて暮らしていきたいと思います。今年はどんな年になるのでしょうか。増えてきているもの、少なくなってきているもの、など様々な心配事はありますが、たくさんの出会いが私たちを楽しませてくれることでしょう。皆様と自然との仲をとりもつようにがんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。　【 写真･文　早坂 徹 】

観察の森
生き物図鑑
117

身近な里山の野生動物

ホンドタヌキ

雪が積もると、たくさんの足跡が見られます。その中でも分かりやすい梅の花のような足跡 が、今回紹介するタヌキです。
タヌキは今年の干支犬の仲間です。
「同じ穴のムジナ」という言葉がありますが、昔はタヌキもアナグマも区別しないでムジナと呼んでいる地方もありました。外見が似ているから？本当のところはどうなのでしょうか。下にタヌキとアナグマの写真を載せてみました。似ていますか？

比べてみよう

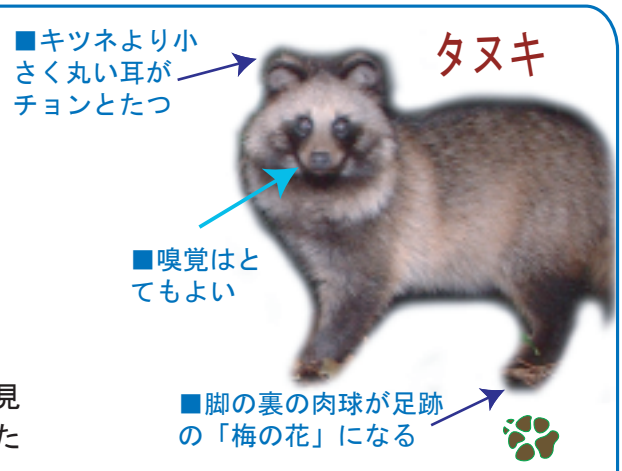
●似てるところ

・足先が黒い
・目の周りが黒い
・脚が短い→走るの苦手
・夜行性

色合いが似ているので、パっと見た感じでは同じように見えていたのかもしれませんね。

●違うところ

・タヌキは丸い耳が立っている
　鼻が黒い
・アナグマは目が小さく、爪が鋭い
　（アナグマはイタチの仲間）



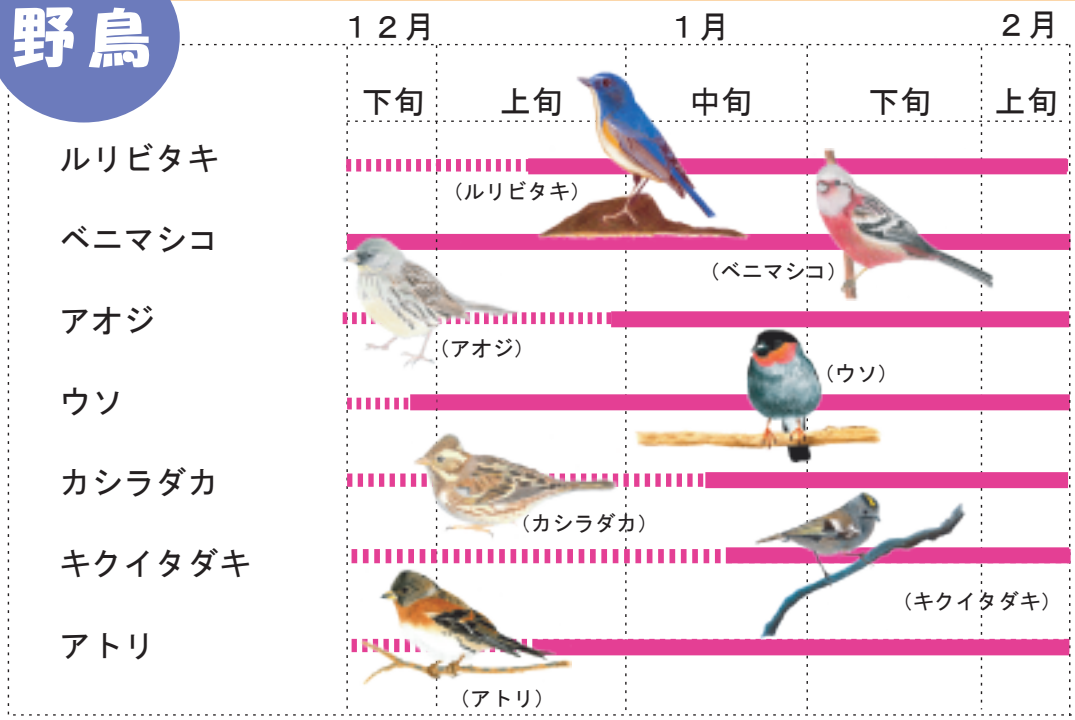
タヌキはため糞といって、複数のタヌキが同じところで共同トイレのようにフンをする習性があります。
ため糞からこの森には無い植物（イチョウ）が発芽したこともありましたよ。

【レンジャー：黒川周子】

＊タヌキは他にも、外来種のアライグマやハクビシンなどとも見間違えられることがあります。

１月の生物ごよみ

野鳥



バードテーブルに集まって来た小鳥たち

12月初めからスタートしたバードテーブルですが、今年は野鳥の集まりが少ないようです。これからの動きに期待したいですね。

今年のバードテーブルの様子。

シジュウカラとヤマガラ

スズメもたくさん集まってきました

ヒヨドリ

キジバト

アオジ

【レンジャー：齋　正宏】

レンジャーの森の雑記帳

新年あけましておめでとうございます。

巡回で園路のみはらしの道を歩くときに、平坦な尾根道はあまりないけれど、わずかに平らになっている場所はあえてゆっくりと歩いてみることにしている。まだ葉の形を残した枯葉の絨毯を踏みしめて、冬の柔らかな木漏れ日を浴びながら歩くと、少しだけ幸せな気持ちになったような気がする。そのままずっと続いて欲しい小径の先は長くは続かないのは判ってはいるが、音もなく樹々の枝から落ちた粉雪が陽光に反射して煌めいたりすると、ハッとさせられたりして思わず立ち止まったり、ヒヨドリが甲高い声で元気よく鳴きながら枝から飛び立ったりするのが見えたりと、冬の沈黙した森の印象がこんな晴れた日には少しずつ雪解けのように緩んで溶けてくる。春を夢見るのはまだまだ先の話だ。森に暮らすすべての生命（いのち）も長い冬の先にある春を夢見て穏やかな微睡（まどろ）みについているのかもしれません。

【レンジャー：阿部正明】

季節を感じて楽しむ

森の七十二候

第 10 回

今月は新年にふさわしく色彩鮮やかな日本の国鳥キジについて紹介します。

キジが鳴き始める頃という意味の七十二候ですが、実際にキジが鳴き始めるのは繁殖期となる３月下旬ごろです。ケーンと大声で鳴き縄張りを宣言します。また「母衣打ち（ほろうち）」【※1】も行います。また、目の周りの赤い肉腫が肥大し、赤いものに攻撃的になります。

メスは複数のオスの縄張りに出入りし卵を産みます。「焼野の雉（きぎす）、夜の鶴」ということわざもあるように、野火で自分の体が焼けても卵を守ると言われている愛情深い鳥です。

1月15日から
19日ごろ

観察の森の中でキジに出会うことはほとんどありませんが、太白山周辺では運が良ければキジと遭遇することはあります。キジは尾根道や山の中というより、広い平地の草原や農耕地などにいます。駐車場の向かい側の畑にいたとの目撃情報がありました。

私がオス１羽を目撃したのは昨年の５月下旬、太白山の八幡神社参道入口のグランド傍です。真っ赤な車に乗っていたので、ライバルと勘違いされ追いかけられるかと思いきや、藪の中に逃げられてしまいました。赤いバイクに乗った郵便屋さんが追いかけられたとの話もあるそうです。

キジ（オス）

キジ（メス）

オスの赤い肉腫

【レンジャー：遠藤和子】

※1 母衣打ち：両翼を広げて胴体に打ち付けてブルブル羽音を立てる動作

のイベント＆お知らせ

◆冬の森の観察会

・冬の森の中で生きる動物たちの生活サインをさがします。

【日　時】：１月２７日（土）午前１０時～１１時半
【定　員】：２０名〔先着　電話受付〕
【服　装】：歩きやすく暖かい服装，長靴など防水性のある靴
【申込み】：１月６日（土）午前９時から電話で

◆「野鳥のレストラン」好評開催中！（3月末まで）

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。
野鳥に関するクイズに当たれば、『オリジナル野鳥のしおり』がもらえます。
クイズは初級編から上級者向けのクイズまで、どなたでも挑戦できます。

◆12月から3月までのガイドウォークは午前1回です。

・冬季（12 月から 3 月まで）は午前 10:00 ～ 11:30 のみの開催となります。お間違いのないようお越し下さい。
・**1月28日は『館長と森を森を歩こう』**となります。

毎週日曜は

『ガイドウォーク』の日！

1月の開催日は
7日、14日、21日、28日です。

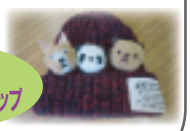
「冬越しの生き物たち」

開催時間：午前　10:00～11:30
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

森のちいさなアトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。

今月は
森のどうぶつ ブローチ＆ストラップ



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のためしばらくの間通行止めになります。

1月の休館日
年始１日～４日
９日、15 日、
22 日、29 日

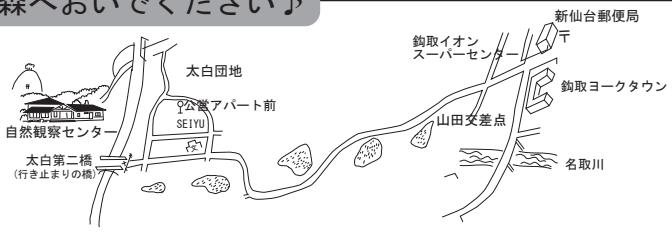
♪森へおいでください♪

宮城交通バスの場合

①仙台駅　7番のりば　乗車時間 約40分
②長町駅東口　3番のりば　乗車時間 約30分
③八木山動物公園駅　6番のりば　乗車時間 約10分
〔行先〕①②③「太白団地経由山田自由ケ丘車庫行」乗車
（※③のみ乗車可「太白団地, 山田自由ケ丘経由仙台南ニュータウン行」）
いずれも公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道２８６号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」バックナンバーはWebでチェック！

「杜のひろば」URL：http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html

2018年1月号（毎月1回5日発行）
発　行：(公財)仙台市公園緑地協会
編　集：仙台市太白山自然観察の森　自然観察センター
〒982-0251　仙台市太白区茂庭字生出森東３６－６３
TEL：022-244-6115　FAX：022-244-6133
E-mail：taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp